

令和2年度事業報告

1 令和2年度事業報告

当財団では、昨年度に引き続き、香川県から指定管理者の指定を受けた公湊森林公園及び香川用水記念公園の管理運営を行うとともに、緑の募金や森林の整備及び緑化の推進、さらに野生傷病鳥獣保護事業などに取り組んだ。

なお、当財団が公益法人へ移行して7年目であり、上記の両公園では指定管理者制度が導入されて以降、其々3期目（平成28年度～令和2年度）の最終年度である。

【1】 森林公園管理事業

県民の心身の健康の増進と、森林及び緑化に関する知識の向上等に寄与する目的で整備された公湊森林公園（面積93ha）の樹木、花壇等の管理をはじめ、公園内の体験学習施設（森林学習展示館、見本園、花木園等）、森林レクリエーション施設（芝生広場、キャンプ場、炊飯場、チビッコ広場やアスレチック広場の遊具等）、さらには二子山展望台及び園内の休憩所などの各種施設について、県民が安全で快適に利用できるよう適切な管理を行った。

1 利用促進の実施

ア 当財団のHPやタウン誌、旅行雑誌等にサクラの開花状況、公園の施設などの情報提供を行った。

イ サルビア等の草花を播種・育成し、チューリップ花壇等に植栽するとともに、緑化の推進を図るため、来園者に球根等を配った。

ウ 園内案内板をはじめ森林のギャラリーなどの園内施設や仮設の案内・紹介掲示板を活用して、花木等の開花情報に加え、樹木等の四季の変化の観察等について紹介するなど、森林公園として特徴のある情報発信に努めた。

エ 園内案内図を利用し易くするため、裏面に施設情報やウォーキングコースを記載しての配布を行った。

<令和2年度入園者数>

月	入園者数（人）	累計（人）	備考
4	48,450	48,450	ソメイヨシノ
5	29,430	77,880	
6	30,280	108,160	
7	28,670	136,830	
8	26,580	163,410	
9	34,220	197,630	
10	48,930	246,560	菊花展
11	53,410	299,970	菊花展
12	39,090	339,060	
1	35,400	374,460	
2	45,200	419,660	
3	73,660	493,320	ソメイヨシノ

※令和元年度入園者数 437,700人

開園以来の入園者数 13,467,090人

2 環境に配慮した取り組み

来園者が手軽に体験できるよう、ツル性植物を利用した「緑のトンネル」「緑のカーテン」をつくり、温度の違いの体験を通じて、家庭でも実践できるエコ対策の普及啓発を行った。

<緑のカーテン種類・規模>

トケイソウのトンネル(チビッコ広場) 高さ 1.9m × 幅 1.5m × 延長 10m

アサガオのカーテン(憩いの家前) 高さ 1m × 延長 10m

3 自主事業の実施

森林公園の利用促進を図るため、次のとおり自主事業を実施した。

(1) 家庭緑化教室の開催

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために、家庭緑化教室は休止し、代替行事(チューリップ球根の植栽)を開催した。

- a 実施日 令和2年12月12日
- b 参加者 20名
- c 参加料 無料

(2) 夏休みクラフト教室

ア 夏休み親子木工教室の開催

県産木材を活用して親子で木工作品づくりに取り組む木工教室を夏休みに計画していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、会場を屋内から野外ドーム周辺に移して、秋に開催した。

- a 実施日 令和2年11月1日
- b 参加者 20名
- c 参加料 無料

イ 草木染め教室の開催

公園内で採集できる木の実等のほか、木の皮や草花の花びら等を染色材料に使って布の染色体験ができる教室を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために中止した。

(3) きのこと栽培体験教室の開催

公園管理のために伐採したクヌギやコナラなどの広葉樹を使って、シイタケやナメコの原木栽培体験教室を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために中止した。

(4) 炭焼き体験教室の開催

園内で伐採した支障木等を利用し、園内に設置されている炭窯を活用して、原木の窯入れ及び炭の窯だしを行う炭焼き体験教室の開催を計画していたが、炭焼き窯は小さな入口が1つで、換気も困難であり、窯の中が密閉状態に近くなるために休止し、炭焼きの材料となる竹を伐採する野外行事を開催した。

- a 実施時期 令和2年11月21日、令和3年3月13日
- b 参加者 50名
- c 参加料 無料

(5) ジュニア「森の案内人」育成教室の開催

森林学習展示館を拠点に、青少年の森エリアを活用し、森林の観察等により児童の観察力や注意力、創造力などを高め、森の案内人として育成する教室を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、場所を学習展示館から野外(ドーム等)に移して開催した。

- a 実施時期 令和2年10月11日、11月1日、12月12日
令和3年3月8日
- b 参加者 延べ50名
- c 参加料 無料

(6) 二子山登山イベントの開催

国民の祝日（8月11日）「山の日」に合わせ、二子山登山イベントを計画していたが、夏の暑い盛りの登山であり、コロナ疲れの体力等を考慮して、「山の日」関連の野外展示に変更して実施した。園内の二子山登山のイベントを開催した。

a 実施時期 令和2年8月～11月

(7) 記念植樹の開催

卒業、退職、団体結成等を祝し、ハナミズキ等の記念植樹を開催した。

a 実施時期 令和3年3月8日

b 参加者 15名

c 参加料 無料

(8) 公淵森林公園「森林IKASU（活かす）」イベントの開催

青少年の森エリアの拠点施設である森林学習展示館において、木竹やマツボックリを使った工作など時期に応じたイベントを計画していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、場所を学習展示館から野外に移して開催した。

a 実施時期 令和2年12月12日

b 参加者 15名

c 参加料 無料

4 展示会等の実施

(1) さくらまつり

4月の第1日曜日に東植田校区コミュニティ協議会等が開催する予定であった「さくらまつり」は中止になったが、ソメイヨシノの開花に合わせて、警察との保安に関する事前協議や警備会社による車両の通行規制等の安全対策を講じる等の対応をした。また、園内清掃等にも努めた。

(2) 菊花展

家庭緑化教室の受講者OB等が会員である公淵菊花同好会が開催した菊花展（10月15日～11月8日）では、当財団としての出展のほか、期間中の展示品への灌水や資材等の保管等に協力した。

(3) 展示会

ソメイヨシノの開花に合わせて、野外で昆虫写真展（令和3年3月）を開催した。

【2】 野生傷病鳥獣保護事業

野生の傷病鳥獣の保護、応急処置、一時収容及びリハビリを行い、再び自然界に復帰させるために設置された香川県野生鳥獣保護センターにおいて、傷病鳥獣の受付等の業務を行うとともに鳥獣保護に関する普及啓発を図った。

1 保護等の状況

保護・収容状況			放野等の状況		2年度末 センター収容数
センター 既収容数	2年度 保護数	総数	放野数	死亡数	
11	73	84	18	54	12

2 診察・保護相談の状況

- (1) 診察件数 6件
- (2) 保護相談件数 2件

【3】 緑化推進事業

みどり豊かな県土づくりを推進するため、県民の緑化意識を高め、県民総参加による森林資源の活用及び緑化の推進を図ることを目的に、香川県からの委託及び公益社団法人国土緑化推進機構（以下「国土緑推」という。）の助成を受け、次の事業を実施した。

1 緑化思想普及啓発事業

(1) 緑化コンクールの実施

緑化の重要性について児童・生徒の理解を深めるため、県内の小学校・中学校・高等学校・特別支援学校を対象に、緑化ポスター原画・書道コンクールを実施した。作品募集については、8月24日～9月7日の間行い、審査を9月18日(書道)・25日(緑化ポスター原画)に実施し、次のとおり入賞作品を選定した。

【緑化ポスター原画の部】

区 分	応募校数	応募点数	入 賞 点 数			
			特選	入選	佳作	合 計
小学校	34	458	6	18	36	60
中学校	20	146	3	9	18	30
高等学校	2	61	3	9	18	30
特別支援学校	1	35	1	3	6	10
合 計	57 (70)	700 (731)	13	39	78	130

【書道の部】

区 分	応募校数	応募点数	入 賞 点 数			
			特選	入選	佳作	合 計
小学校	82	3,427	9	28	56	93
中学校	37	565	2	6	18	26
高等学校	5	77	1	3	6	10
特別支援学校	3	50	0	2	2	4
合 計	127 (134)	4,119 (3,678)	12	39	82	133

備考：() は、令和元年度実績

このうち、入賞作品(特選、入選)103点については、高松シンボルタワータワー棟3F かがわプラザ「かがわの森アンテナショップ」において、10月6日～10月25日の間、展示するとともに、特選受賞者は、10月25日にサンポートホール高松54会議室において表彰式を行った。

また、ポスター原画の特選受賞作品(13点)については、国土緑推が主催する国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクールに応募し、次の作品が入賞した。

(小学校の部)

入選(国土緑化推進機構理事長賞) 大川 航梓朗さん 高松市立新番丁小学校 5年

(中学校の部)

準特選(林野庁長官賞) 中尾 結衣さん 綾川町立綾南中学校 3年

(高等学校の部)

入選(国土緑化推進機構理事長賞) 麻生 芳希さん 香川県立香川中部養護学校高等部 2年

(2) 緑の少年団の育成強化

緑の少年団の育成や活動を強化するため、小・中学校校長会において推進活動等を行い、新たに高松市立新番丁小学校、丸亀市立城北小学校の2校で緑の少年団が設立された。また、緑の少年団への活動助成について、15団に対して活動助成金(100千円/団)を交付した。

(3) どんぐり銀行活動の実施

自然とふれあう機会の少なくなった子どもたちに、どんぐりを拾うことを通して「森に親しみ、森と友達になる。」ことを目的とし、どんぐり銀行を開設してどんぐり預金の受け入れや苗木の払い戻しを行った。

<どんぐり銀行>

- ・受付期間 令和2年10月～12月
- ・預金者 2,761人(うち新規預金者 1,088人)
- ・苗木払い戻し 203本/68人(令和3年3月14日 どんぐりランド他3か所)
- ・臨時支店の開設 8か所(さぬきこどもの国他) 預金者 873人

2 森づくり活動支援事業

(1) 森林づくり体験イベントの開催

国土緑推の助成を受け、「緑と水の森林ファンド事業」により、森づくり活動に必要な資材等を購入するとともに、森林や森づくり活動の魅力を伝える「森photo」キャンペーンを実施した。

なお、7月に予定していた早明浦交流の森づくりプロジェクトは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止した。

(2) 森林及び緑化に関する調査・研究等

県民総参加による森林資源の活用や緑化の推進を図るため、里山整備を行うボランティア団体等に緑の募金助成ガイドやポスター等の情報提供を行った。

また、国土緑推の「学校環境緑化モデル事業」に小豆島町立星城小学校、三豊市立吉津小学校を推薦し、両校は助成金(500千円/校)をもとに校内の高木の剪定・植樹やビオトープを整備した。

【4】 香川用水記念公園管理事業

香川用水の歴史と恩恵を永く後世に伝えるとともに、県民に憩いの場を提供する目的で整備された香川用水記念公園の施設を、適切かつ効率的に管理運営するため、香川県から指定管理者の指定を受けて次の事業を実施した。

なお、毎年8月第一日曜日に地元実行委員会との共催で実施し、多くの人を訪れる「水辺の納涼祭」については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止とした。

1 管理運營業務

記念公園（面積6ha）の樹木、花木、芝生等の管理をはじめ、公園内の水とのふれあい施設（せせらぎの川、じゃぶじゃぶ池、遊具等）の点検整備や補修、さらには水の資料館の施設や展示資料の維持管理に努め、安全で快適な利用に供するため適切な管理を行った。

また、小・中学生など団体見学者への香川用水東西分水工の案内や水の資料館展示資料等の説明を行い、「香川用水への理解」と「水の大切さ」への啓発に努めた。

(1) 令和2年度入園者数 58,205人

入園者の状況（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

区 分		校(団体)数	入園者数(人)	比率(%)
団 体	保育所・幼稚園	0	0	0.0
	小 学 校	48	3,280	5.6
	中 学 校	2	102	0.2
	行政機関	8	67	0.1
	その他団体	45	626	1.1
	計	103	4,075	7.0
個 人			54,130	93.0
合計		103	58,205	100.0

(2) 令和元年度入園者数 62,210人

(3) 開園以来の入園者数 1,554,000人 (H9年度～R2年度 24年間)

2 自主事業

(1) 「わたしたちのくらしと水を学ぼう」夏休み 親子体験教室の開催

水が最も多く使われる夏休み期間中に、小学校高学年のお子さんとその保護者の皆さんに、香川県の水事情や香川用水等について、公園の施設見学を通して学んでもらい、水の大切さへの関心を深めてもらうため実施した。

実施日：夏休み期間中 2回

参加者：5組 38名

(2) 「わたしたちのくらしと水」校外学習の開催

県内の小学校4年生等の学級単位での、水に関する環境学習会を実施した。

実施時期：7月～12月

実施学校：4校 生徒138名 引率11名 計149名

(3) パネル展の実施

国・水資源機構・県等8団体から提供を受けた香川用水関連のパネルは水の資料館3階休憩コーナーを、また、水源地域の2市町からの提供パネルは「水源地展」として1階企画展示室を活用するなど、年間を通してパネル展を実施した。

(4) 「君も挑戦！香川用水博士」クイズラリーの実施

水の資料館や公園施設を活用したクイズラリーを常時実施した。

【5】 緑の募金事業

森林及び樹木の果たしている役割の重要性について、県民の理解と関心を深めていただき、緑を守り育てる具体的な緑化運動に結び付けるため、「緑の募金強調期間」を設定するなどして、コロナ禍の中、募金運動を実施した。

1 緑の募金運動の推進

緑の募金目標額を1,100万円として、企業募金、職域募金、家庭募金のほか小学校・中学校等の学校募金をお願いした結果、9,185,244円の募金をいただいた。

(1) 募金活動の実施

＜緑の募金強調期間＞

春期：令和2年2月15日～令和2年5月31日

秋期：令和2年9月1日～令和2年10月31日

- | | |
|---------------------------------|------------------|
| ①小・中学校校長会(学校募金のお礼及び協力依頼) | 5月 8日 |
| ②令和2年度第1回運営協議会(元年度事業報告及び収支決算) | 5月27日 |
| ③令和2年秋全国緑化キャンペーン緑の羽根着用依頼(県庁) | 8月12日 |
| ④全国緑化推進委員会連絡協議会総会(書面会議) | 8月26日 |
| ⑤令和2年秋の「緑の募金」協力依頼文書発送(企業・職域他) | 8月31日 |
| ⑥緑の募金企業・職域訪問(延べ20日間 150か所訪問) | 8月31日
～12月22日 |
| ⑦全国緑化推進委員会連絡協議会総会(Web会議) | 12月11日 |
| ⑧令和3年春全国緑化キャンペーン緑の羽根着用依頼(県庁・市町) | 1月18日 |
| ⑨令和3年春の「緑の募金」協力依頼文書発送(企業・職域他) | 1月28日 |
| ⑩令和2年度第2回運営協議会(2年度収支予算の変更) | 3月12日 |

(2) 緑の募金の実績 (令和2年4月1日～令和3年3月31日)

(単位：件・円)

区分	令和2年度		令和元年度		募金額 増減	
	件数	募金額	件数	募金額		
学校募金	小学校	18	501,597	25	680,800	△ 179,203
	中学校	3	41,856	2	29,600	12,256
	高等学校	3	132,216	2	118,200	14,016
	特別支援学校	1	7,000	1	7,100	△ 100
	幼稚園	6	51,100	6	51,700	△ 600
	保育所	15	56,550	16	77,300	△ 20,750
	小計	46	790,319	52	964,700	△ 174,381
職域募金	215	2,808,110	213	2,983,096	△ 174,986	
企業募金	270	4,236,493	257	3,826,429	410,064	
家庭募金	268	1,164,253	278	1,327,234	△ 162,981	
街頭・窓口募金他	45	186,069	28	259,125	△ 73,056	
計	844	9,185,244	828	9,360,584	△ 175,340	

2 「緑の募金」寄附金による緑化の推進

「緑の募金」による寄附金を用いて、潤いと安らぎに満ちたみどり豊かな環境の創造に寄与するため、次の事業を実施した。

(1) 学校環境緑化事業交付金

学校環境緑化事業交付金交付要綱に基づき、学校敷地内の緑化整備(花苗の植栽等)を行った10校(1幼稚園 9小学校)に対して、前年度の学校募金額の6割を上限に交付金を交付した。

<交付先(交付額 円)>

一宮幼稚園(6,078) 多肥小学校(32,700) 林小学校(31,000) 栗林小学校(59,000)
三溪小学校(13,260) 城西小学校(30,720) 岡田小学校(15,720) 飯野小学校(7,680)
志渡小学校(20,100) 白山小学校(19,860)

(2) 緑の募金事業助成金

緑の募金事業助成金交付要綱に基づき、緑化の推進及び森林の整備に関する事業を行った団体に対して、その事業に要する経費の一部を助成した。(単位:円)

事業名	交付先	交付額	事業内容
森林づくり事業	森づくり香川・林援塾、東かがわ市北山森林ボランティア会、魚見山森づくりの会外(10件)	1,518,487	檜林の間伐・除伐 枯損木の除去 山桜・檜の植樹 登山道の草刈り 遊歩道の整備 等
森林環境学習事業	NPO法人フォレストアーツかがわ(1件)	100,000	保育所での出前授業(5か所) (檜の輪切りを使ったお話・ヒノキの演奏 等)
香川のみどりづくりイベント事業	香川県木材需要拡大協議会(1件)	200,000	木工工作教室の開催
みどりの広場づくり事業	川西地区地域づくり推進協議会、川原自治会(2件)	175,000	ミニ森林公園整備のための竹林伐採、公共用地(なかよし通り)の環境整備・花苗植栽
計	14件	1,993,487	

(3) 公益社団法人国土緑化推進機構への交付金

公益社団法人国土緑化推進機構が行う広域的及び国際的な森林整備等を支援するため、緑の募金による森林整備等の推進に関する法律 第18条1項に基づき、緑の募金による寄附金の一部(429,000円)を同機構に交付した。

令和2年「緑の募金」交付金算定式

8,950,836円(令和2年募金額 1月~12月)×2%+250,000円 ≒ 429,000円